

VOL.190 | KENP NEWS

KUMAMOTO KEN PTA NEWSPAPER

発行所 熊本県PTA連合会
〒860-0842
熊本市中央区南千反畑町3-7
熊本県総合福祉センター4F
TEL096-354-5919
FAX096-354-5913

●発行責任者 田尻清孝
●単位PTA数 325
●発行部数 71,000部

県P連ホームページアドレス
<https://kumamoto-pta.jp>

監修 熊本県人権教育研究協議会
制作 株式会社ワタナベデザイン
印刷 株式会社キャップ

特集

熊本県P研究大会 あまくさ大会



実行委員長あいさつ

あまくさ大会実行委員長 前田知洋

「PTAだから出来る贈り物」
秋も深まる中、第51回熊本県PTA研究大会あまくさ大会は、皆様の多大なるご支援とご協力により、無事に挙行することができました。心より感謝申し上げます。
ご参加いただいた皆様が、それぞれの単位PTAへ戻られた後、本大会のことを他の方に語りたくなったとすれば、実行委員会としてこれ以上の喜びはなく、本大会は成功であったと感じております。
本大会は、開催の約三か月前に熊本豪雨災害に見舞われ、さまざまな課題を抱えながらも、関係者の尽力により実施にこぎ着けることができました。広域にわたる天草地域は、同じ地域でありながら日頃の行き来が少ないのが実情ですが、今回の実

行委員会活動を通じて、大会テーマに掲げた「架け橋」としての役割を果たし、相互のつながりと理解を深めることができましたと感じております。
多くの反省点や貴重なご指摘もあつたことと存じますが、実行委員会一同、達成感を共有できたこと、そして大変有意義な機会をいただいたことに、深く感謝しております。
地域の宝である子どもたちの未来へとつながる架け橋を築くこと、それこそが、PTAだからこそできる大切な贈り物ではないでしょうか。



会長あいさつ

熊本県 PTA 連合会会長 田尻清孝

この度は、熊本県PTA研究大会あまくさ大会へご参加いただき、心から御礼申し上げます。県内各地から多くの皆様にご参加いただき、学び合い・語り合う時間を共有できたことは、私たちにとって大きな励みとなりました。
今回の大会を通して強く感じたのは、PTAは子どもたちを中心に地域をつなぐ「架け橋」であるということです。家庭・学校・地域が互いに手を結ぶことで、子どもたちはより豊かに成長します。今回の大会で得た気付きは、その架け橋をさらに強いものへと育ててくれるはずです。

開催に当たり、多大なご協力をいただいた実行委員会を始めすべての皆さまに深く感謝申し上げるとともに、この大会での学びが、今後のPTA活動を支える力となることを願っております。ありがとうございました。



ふれあい活動委嘱事業活動のご報告

本年度から「ふれあい読書研究会」と「親子ふれあいデー活動」は統合されて、「ふれあい活動委嘱事業」となりました。より多くの PTA が参加できるようになりました。

ふれあい読書研究会報告

「読書が楽しい！」
子どもになりますように

上天草市立
龍ヶ岳小学校 PTA

県南 上天草市エリア
児童数 91人
教職員数 22人

校長 ● 桑原秀明
PTA会長 ● 桑原 強
原稿執筆者 ● 平本諒子



絵本・読み聞かせスペシャリスト
認定講師によるブックトーク



人形劇団による昔話の人形劇

龍ヶ岳小学校には、月2回、読み聞かせと音読傾聴の時間があります。地域のボランティアや PTA 会員のみなさんが、季節や学年に合わせた絵本を読んでくださり、子どもたちの音読を聴いてくださいます。子どもたちは、絵本の世界に引き込まれ、上手に音読しようとはりきります。ふれあい読書研究会のおかげで、新しい取組ができました。絵本・読み聞かせスペシャリスト認定講師によるブックトークでは、5・6年生は「見えるもの・見えないもの」をテーマに絵本の読み聞かせや説明を聞き、絵本の魅力を感じることができました。1～4年生は、人形劇団による昔話の人形劇を鑑賞し、文字や絵だけでは読み取れないことを知ったり、原作にないことまで想像をふくらませたりすることができました。また、本校では、図書委員会が主体となった子どもたちによる「龍ヶ岳小読書王決定戦」も行い、読書量の増加につながりました。これからも読書を楽しむ子どもたちを育てるために、地域のみなさん、学校や家庭と力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。

親子ふれあいデー活動報告

体験を通して広がる学び
『南小フェスティバル』

合志市立
合志南小学校 PTA

県北 合志市エリア
児童数 717人
教職員数 45人

校長 ● 土井 昭子
PTA会長 ● 高木真季子
原稿執筆者 ● 高木真季子



本校では毎年、親子ふれあいデーの一環として、子どもたちが地域や保護者と関わりながら学び、体験できる『南小フェスティバル』を開催しています。今年度は11月22日(土)に校内に44のブースを設け、保護者の仕事紹介、琴や車椅子バスケットボールの体験、地域ボランティア「お話ポケット」による読み聞かせやミニ畳作りの制作など、多様な内容を実施しました。

会場では、友だち同士で声を掛け合いながらブースを巡り、体験を通して笑顔を見せる子どもたちの姿が多く見られました。消防体験では、勢いよく放たれる水に歓声が上がリ、迫力ある体験による学びが生まれました。コーヒー屋さんのコーナーでは、立ちのぼる香ばしい香りに包まれ、においに触れながら楽しむ様子も印象的でした。

国際交流ブースでは、ジンバブエやノルウェーなどの国を取り上げ、文化や暮らしの違いに触れる機会となりました。後日、子どもたちが体験を通して感じたことや感謝の気持ちを手紙にまとめ、講師の皆さまへお届けしました。子どもたちの反応を受け、「来年も楽しみにしている」といった声が講師の方々から寄せられました。

ふれあい活動委嘱事業 中間報告会の報告



理事 家庭教育委員
中村 沙織

令和7年12月16日、令和7年度ふれあい活動委嘱事業の中間報告会が開催され、47校が参加されました。

報告会では、グループに分かれ各学校の活動について発表されました。

親子ふれあいデーでは、調理や制作、会食などの体験活動を通して、親子が笑顔で関わり合う様子が報告されており、ふれあい読書研究会では、読み聞かせや手作り紙芝居の作成に取り組み、子どもたちが物語の世界を楽しみながら想像力や表現力を育む実践が報告されていました。

家庭・学校・地域が連携した温かな活動の広がりが共有され充実した報告会となりました。今後も人と人とのふれあいを大切にしたい取組を続けていきたいです。

令和8年度 ふれあい活動委嘱事業 委嘱校募集

親子ふれあいデー活動

PTAが主催となり家族で自然とふれあう時間、またPTA会員同士や地域の人々との交流を通じ人間関係を育みふれあうことなどを目的とした事業です。
委嘱校…18校程度
委嘱金…1校につき20,000円支給

※毎年応募できます。

ふれあい読書研究会

PTAが主催となり家庭・学校・地域を巻き込み、気づき、学び、楽しく読書に親しみ、本とふれあうことなどを目的とした事業です。
委嘱校…20校程度
委嘱金…1校につき50,000円支給

※過去3年間(令和5年度～令和7年度)に委嘱を受けていない単位PTAが応募可能です。

募集内容はホームページでもご覧になれます

- ※2月下旬～3月上旬に各単位PTAへ1回目の募集案内を配布します。
- ※4月上旬に2回目の募集案内を配布。(予定)
- ※募集案内をよくご確認いただき、応募用紙に必要事項をご記入の上、郵送又はメールにてご応募下さい!!
- ※先着順ではありません!!応募多数の場合は、応募内容等にて選定致します。

たくさんのご応募
お待ちしております!

日P大会・九P大会参加のご報告

日P大会と九P大会がそれぞれ石川県と福岡市で開催されました。
今日の教育環境や今後の展望を学べる貴重な時間となりました。参加者の報告を掲載します。

第73回日本PTA全国研究大会石川大会報告

全体会・分科会を通じて多くの学びを得ました。

全体会では、PTAの成り立ちを学び、社会の変化に伴う子どもの育ちの課題や、家庭・学校・地域が連携する大切さが示され、PTA活動の意義を改めて実感しました。特別第1分科会では、日本PTA全国協議会会長の太田敬介氏、石川県教員総合研修センター所長の金子俊一氏、南野弘一氏を迎え、子どもを取り巻く環境とPTAの役割について活発な議論が展開されました。太田氏からは「保護者の無理のない参加」の必要性、金子氏からは学校と保護者の協働の具体例、南野氏からは地域と子どもをつなぐ実践が紹介され、それぞれ印象深く心に残りました。「正直、PTAってしんどくない?」という率直な問いかけに対しても、無理のない参加や役割分担、ICTの活用など、柔軟な工夫が紹介され、持続可能なPTAの在り方を考えるヒントになりました。

今回の大会を通じ、PTAは単なる役割遂行の場ではなく、保護者同士がつながり、共に子どもの未来を育むための貴重な場であることを再認識しました。今後は、「無理なく、しかし確実につながりを広げる」取り組みを意識し、今回の学びを地域の活動に生かし、一層充実したPTA運営につなげていきたいと思ひます。



理事 家庭教育副委員長
中崎 恵理



九P福岡大会 第4分科会研修報告

「デジタル社会で子どもたちにより眠りを届けるには?」と題した本講演、講師である筑紫女学園大学の西良准教授は、県内の学校でスクールカウンセラーとして子どもの睡眠教育(みんいく)に長年携わっておられます。

講演では、スマートフォンやゲームの長時間利用により、子どもたちの睡眠不足や生活リズムの乱れが進んでいる現状が示されました。睡眠の「量・質・リズム」を整えることが心身の健康に直結すること、特に休日と平日の就寝・起床時刻のずれが「社会的時差ぼけ」を引き起こすという大変興味深いものでした。また、印象に残った言葉は、「リアルの楽しさを知る」というものです。実際にデジタル環境から離れ、数日過ごす取り組み場面をみましたが、デジタルの世界に偏りがちな今だからこそ、人

とのつながりや自然、体験を通して「現実の喜び」を感じることが、健全な生活リズムを育む鍵になると学びました。

今回の研修を通して、家庭・学校・地域が連携し、子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境づくりの大切さを改めて実感しました。



理事 家庭教育委員
清水 厚子

九P大会提言校報告

第70回九州ブロック研究大会福岡市大会
第4分科会「教育環境」
未来の教育をUPデート!

□期日: 令和7年10月18日(土)

□場所: 福岡市民ホール

□討議題: 家庭・社会教育における「DX: デジタルトランスフォーメーション」を考えるPTA活動

□提言題: 「夢に向かって、一歩ずつ、集い・広げるPTA活動の創造」

□提言校: 産山村立産山学園PTA

□提言者: 前会長 富田陽一

□提言補助者: 副校長 土井淳

私たち産山学園PTAは、校訓である「We have a dream」に込められた想い(「子どもに係るすべての村民が、夢に向かって共に進むスタンス」)を大切に、PTA活動のUPデートに向けた提言を発表させて頂きました。



提言では、子どもたちを中心にPTA組織と学園の双方が「win-win」の関係となるよう活動の負担軽減・最適化にトライしたことや、全会員が公平に係る「一人一役」の体制を確立したこと、そして、学園HPを通じて教育活動を「可視化」し、教育に対する会員の安心・関心を高める取り組みを紹介しました。

産山村の教育の強みは、子どもたちの周りに自然と大人が集い、村民「総がかり」で子どもたちの夢を後押しするスタンスが受け継がれ続けていることと捉えています。

関心を持って頂いた参加者から多くの質問や温かいエールを頂戴しました。今後も私たちPTAが学園・家庭・地域をつなぐ懸け橋の役割を果たし、産山学園PTAの誇れる姿を変えないために一歩ずつUPデートしていきたいと思ひます。



令和7年度 表彰

■公益社団法人日本PTA全国協議会会長表彰

【団体】水俣市立水俣第二中学校PTA

【個人】山口法子、松本啓佑

■第47回全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰

【教育家庭新聞社社長賞】宇土市立宇土小学校PTA

■熊本県社会教育功勞表彰

【知事表彰】

山口法子

【教育委員会表彰】

松本啓佑、松本美恵

■九州ブロックPTA協議会長賞

【団体】玉名市立築山小学校PTA

人吉市立大畑小学校PTA

第50回熊本県PTA研究大会阿蘇大会実行委員会

【個人】田中桃子、前村悠樹、上田良子

川上栄治、田中万里

【感謝状】山口法子



第1会場 天草市民センター ホール

【講演】講演者/ 田嶋 幸三氏 (公益財団法人 日本サッカー協会 名誉会長、FIFA カウンシルメンバー)
演題/「熊本から、天草から、世界へ」
【パネルディスカッション】テーマ/ 部活動の地域展開「地域とともに育てる部活動 ~子どもたちの未来を地域で支える~」



参加者感想

~子どもたちの未来を地域で支える~

私は初めてこの研究大会に参加しました。

まずアトラクションの天草市立本渡中学校吹奏楽団の演奏はとても迫力があり生徒達が楽しそうに演奏されていて素晴らしいです。

講演内容の FIFA カウンシルメンバー、田嶋幸三氏の話では、子どもの成長に必要なのは場所ではなく指導者次第という事。私達親も含め先生、コーチ、社会が協力して環境を整えることが大切だと思いました。

パネルディスカッションでは、部活動の地域展開(移行)について皆さんの意見を聞くことが出来ました。

このような素晴らしい大会を開催された実行委員会、スタッフの皆様には心より御礼申し上げます。



玉名市立天水中学校 PTA 会長 平野敦士

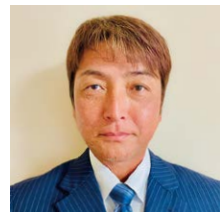
責任者報告

次世代を育む希望の架け橋

あまくさ大会メイン会場では、全国大会に出場した本渡中学校吹奏楽団の迫力ある演奏で幕を開け、続いて日本サッカー協会名誉会長・田嶋幸三氏の基調講演が行われました。

世界を経験された田嶋氏が語る指導と教育の重要性は大変説得力があり、パネルディスカッションでは部活動の地域展開と、学校・PTA・地域の連携の必要性を共有する場となりました。

多くの来場者から大会内容への高い評価を頂き、スタッフ一同これまでの努力が報われる大会となりました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



天草市立五和中学校 原田竜一

講師名 田嶋幸三氏

第51回熊本県PTA研究大会あまくさ大会

あまくさ大会の様子は HP にも掲載しています!



参加者感想

『つながることの大切さ』

今回、講演をいただいた大矢野出身で元女子バレーボール日本代表の小幡真子さんは、バレーボールを通じ多くの経験をし、多くの方に出会い、たくさんの言葉をいただき、学べたからこそ、今の自分があると話されました。

また、第2部では「PTA のあり方について」様々な意見を聴くことができました。最近では多様化する考え方から PTA 離れも増え、社会現象と言っているほどです。

本校が新設された5年前はコロナ禍であり、制限がある中『子ども達のためになることだけをやろう!』と決め、先生方との連携を重要視しました。今回の研究大会を通じ、「つながることの大切さ」と、「つながり方の工夫」を考える良い機会となりました。ありがとうございました。



合志楓の森中学校 PTA 会長 永清和寛

責任者報告

『つながることの大切さ』

第3会場では、8月の豪雨により開催自体が危ぶまれる状況となりましたが、実行委員の皆様方の熱意と幾度もの協議の結果、開催にこぎつけることができました。会場も浸水のため、急遽大矢野総合体育館に変更しての開催となりました。

本会場は、松島中学校「水軍太鼓」の迫力ある演奏で幕を開けました。続く講演では、元五輪代表の小幡真子氏が「『つながる』ってなんだろう?」と題し、つながりの重要性について示唆に富んだお話をいただきました。後半のパネルディスカッションでは各単位 PTA の実例を共有し、活発な意見交換が行われました。

開催にご尽力いただいた全ての皆様に深く感謝申し上げますとともに、被災された皆様の復興を心よりお祈り申し上げます。



上天草市立大矢野中学校 PTA 会長 河村幸直

講師名 小幡真子氏

第3会場 大矢野総合体育館

【講演】講演者/ 小幡 真子氏 (SV リーグ広島サンダース 元女子バレーボール日本代表)
演題/「『つながる』ってなんだろう? ~バレーボールが教えてくれた出逢いの輪~」
【パネルディスカッション】
テーマ/ PTA のあり方について「PTA の底力 ~正直、PTA ってめんどくない? もっと気軽に PTA~」

第2会場 天草市民センター 体育館

【実践活動①】 講演者 / 水田 順司 氏 (公益財団法人 運動器の健康・日本協会 認定スクールトレーナー)
テーマ / 「子どもの姿勢が集中力と健康を変える」～家庭でできる簡単トレーニング～
【実践活動②】 講演者 / 池田 めぐみ 氏 (一般社団法人 ヤマガタアスリートラボ 代表理事、元フェンシング日本代表)
テーマ / 「整える力が未来をつくる」～トップアスリートに学ぶ親子のコンディショニング～

参加者感想

体を動かすことの大切さ

先日、天草市民センターのイベントに参加しました。

水田先生の実践活動では、姿勢の乱れが子どもの集中力や成長に深く関わると知り、驚きました。親子でできる簡単なトレーニングを学び、家庭での姿勢改善のヒントを得られました。

また、元アスリートの池田先生の講演では、心と体を『整える力』が未来を作るというメッセージに感銘を受けました。特別なことではなく、日常のストレッチや呼吸法を習慣化することの大切さを体験。親子で一緒に運動の楽しさと、健やかな生活を送るための基礎を学ぶことができ、大変有意義な一日となりました。私も、スポーツ推進指導者として実践していきます。



相良村立相良中学校
PTA 会長 高田大器

責任者報告

初挑戦が生んだ一体感

今回第2会場では、初めて講演と実践を組み合わせた形式で行いました。水田様には姿勢の大切さと成長への影響を、池田様には親子で取り組むコンディショニングについてお話しいただきました。お二人の温かい想いと参加者の皆様の前向きな姿勢で、会場内は終始リラックスし笑顔あふれる和やかな空間となりました。親子で、お友達同士やお一人で参加された方々が自然とひとつになり、同じ空間を楽しんでくださった様に感じています。

初めての取り組みで不安もありましたが、講師の先生方、参加者の皆様、そして運営に協力いただいたスタッフ皆様のおかげで、とても温かい大会となりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



天草市立五和中学校
稲澤純子



講師名 池田めぐみ氏



講師名 水田順司氏

令和7年11月8日(土)に「第51回熊本県 PTA 研究大会あまくさ大会」が、天草市民センターをメイン会場に天草市、上天草市の3つの会場に分かれて開催され、総数1,052人の参加がありました。橋と橋でつながれた天草ならではの大会テーマをきっかけ、開放感にあふれた大自然の中で行われました。進化し続けるPTAにおいて、各会場ごとに特色ある講演内容に、新たな気づきや学びを深め、参加者全員で家庭の在り方や教育への関わりなどを探求でき、とても充実した1日となりました。

次期大会案内

令和8年度は 荒尾市で開催!

来年の第52回熊本県 PTA 研究大会あらか大会の実行委員長を拜命しております松藤と申します。

荒尾市 PTA 連合会では、13ある小中学校のうち、脱退している学校が5校あり、少ない人数での大会運営を迫られています。

その中でも、荒尾の特性を生かし、皆様に参加したくなるような工夫や仕掛けを施しながら、学びの多い大会を目指してまいります。

すでに実行委員会を10回近く開催しており、着々と準備を進めておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております!

あらか大会の情報は
今後 HP でも更新します♪



第52回 熊本県PTA研究大会 あらか大会



令和8年11月開催予定

■主催:熊本県PTA連合会

■主管:荒尾市PTA連合会

単 P 紹介

持続可能な PTA を目指して

苓北町立
志岐小学校 PTA

県南 天草郡市エリア

児童数 117 人

教職員数 21 人

校長 ● 赤城 理恵
PTA 会長 ● 山本 英人
原稿執筆者 ● 山本 英人



親子クッキング



ふらば〜るバレーボール大会



朝のあいさつ運動

志岐小学校は熊本県の西端、苓北町の中心部に位置し、昨年度創立150周年を迎えました。

志岐小学校 PTA は、減少傾向にある PTA 会員数を鑑み持続可能な組織を目指し、これまで4つあった委員会を今年度2つの委員会を統合して3つにし、役員数を削減しました。また、朝のあいさつ運動については、場所や人数の割振りの見直しを行い、さらに形骸化していた事業は取り止めることにしました。

一方で、新たに「親子クッキング」を実施したほか、会員同士の交流を目的とした「ふらば〜るバレーボール大会」も開催し、保護者や先生方がより参加しやすい PTA となるよう努めています。

今後も、引き継ぐべき伝統は大切にしながら、それぞれの会員ができることを少しずつ持ち寄り、柔軟で風通しが良く、持続可能な PTA を目指して活動していきたいと思えます。

単 P 紹介

チーム阿蘇小で育む きらっと輝く阿蘇の子ども

阿蘇市立
阿蘇小学校 PTA

県北 阿蘇郡市エリア

児童数 236 人

教職員数 30 人

校長 ● 後藤 昭
PTA 会長 ● 末藤達也
原稿執筆者 ● 末藤達也



「地域貢献活動」地域の清掃活動、沿道の球根植え



「地域体験活動」敬老会へのゲスト参加

阿蘇小学校 PTA は、「ふるさとを愛し、ともによりよい明日を創造する児童の育成〜チーム阿蘇小で育む きらっと輝く阿蘇の子ども〜」の学校教育目標のもと「児童・家庭・地域・学校・行政」が一体となり、活動しています。

夏休み前には、PTA プール開放に向け、全保護者対象の「救急救命法講習」を実施したり、PTA 役員による、6年生児童に向けた「KYT(危険予知トレーニング)講座」を開催したりしながら、子どもたちの楽しみと命を守る活動に取り組んでいます。

また、地域とのつながりを大切に「地域体験活動」「地域貢献活動」を通して、登下校の見守り活動等でお世話になっている方々との交流や恩返しにも取り組んでいます。

11月には、消防署、警察署、消防団、社会福祉協議会、女性の会等と協働した「親子でまな防災デー」に取り組み、防災への学びを深めました。

今後も「チーム阿蘇小」で子どもたちを支え、子どもたちの笑顔と成長につながることを目指していきます。

連載記事
第5回

県 P 連って?

上部組織について

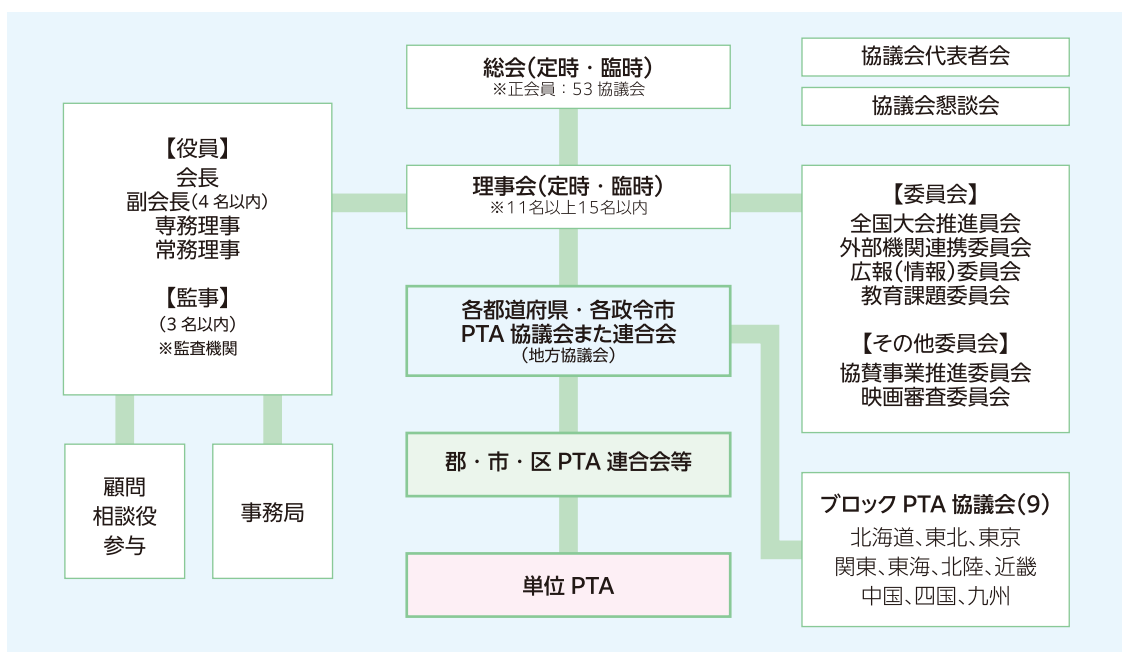
●「日 P」

日本 PTA 全国協議会の略称

●「九 P」

九州ブロック PTA 協議会の略称

日 P とは、都道府県・指定都市 53 協議会により構成する保護者と教職員の全国組織（数字は 2025.12 月現在）



日 P の主な取り組み・事業(抜粋)

- 政府や関係機関などへの働きかけ
- 子育てを支援する活動、被災した子供たちの支援活動
- 感染症対策の活動
- 差別や偏見を解消する活動
- 年次表彰及び全国小中学校 PTA 広報紙コンクール表彰、等々

九 P について

九州エリアの 11(8 県 + 3 政令市)の地方協議会から構成され、熊本県 PTA 連合会(県 P 連)は「九 P」に所属する地方協議会になります。地方協議会では、ブロック PTA 協議会が組織され、全国研究大会やブロック研究大会に関する事業を行います。私たち県 P 連は、熊本県の代表として会議や研修、大会等に積極的に参画しています。

本年度、県 P 連と関係団体と行った主な協議についてご紹介します。

- 熊本県小中学校校長会との「教育懇談会」 R7.9.19 (金)
- 熊本県退職校長会との「教育懇談会」 R7.9.19 (金)
- 熊本県公立高校 PTA 連合会及び熊本市 PTA 協議会との「教育懇談会」 R7.10.10 (金)
- 熊本県教職員組合との意見交換会 R7.11.11 (火)
- 熊本県教育委員会との「教育懇談会」 R8.1.28 (水)
- 熊本市 PTA 協議会との包括協定に基づく連携

県 P 連は
“架け橋”

県 P 連は、県下の単位 PTA の総意を形成して行政や関係団体と協議し連携していくことで子供たちの健全育成と PTA 会員の資質向上及び教育の振興を図りこの三者を結ぶ「架け橋」となるようこれからも積極的に活動していきます。

各委員会及び部会からのご報告

熊本県 PTA 連合会には様々な委員会や部会があり、それぞれ活動を行っております。ここでは、各委員会・部会の活動内容の紹介と、本年度の活動報告を掲載いたします。

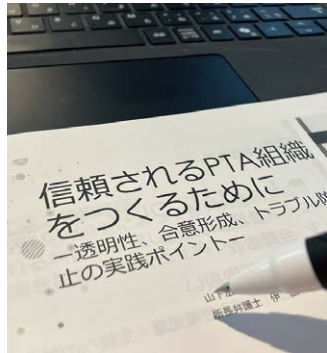
総務委員会報告

委員長 吉村 俊彦

令和7年度の総務委員会では、熊本県PTA連合会が会員から信頼され、持続的に活動していくための基盤づくりとして、コンプライアンスの一層の強化に重点を置いた取組を進めました。具体的には、理事会において外部の専門家を招いたコンプライアンス研修を2回実施し、PTA組織に求められる法令遵守の基本的な考え方に加え、会費の適正管理、個人情報情報の適切な取扱い、ハラスメント防止など、実務に即した内容について理解を深めました。

これらの取組で得られた知見は、今後、県内各エリアや単位PTAにも共有し、県全体としてのコンプライアンス意識の向上と健全な組織運営につなげていく予定です。

総務委員会では引き続き、会員の会費により成り立つ団体であることを常に意識し、透明性と説明責任を重視した運営体制の充実に取り組んでまいります。



教養委員会報告

委員長 松本 淳

教養委員会は、本会の目的にもあります「PTA会員の資質の向上及び教育の振興」のため、「事業概要(3)PTA会員の研修並びにリーダーの育成のための研究および研修会の開催」を担い活動しています。具体的な活動として、夏に県P理事・各エリア事務局のための理事・事務局長合同研修会、冬に次年度の単位PTAリーダーのための単位PTAリーダー等研修会、そして秋には全会員向けの熊本県PTA研究大会と、大きく3つの活動を行っています。

2025年の重要な出来事として、第51回熊本県PTA研究大会あまくさ大会が挙げられます。8月の豪雨災害により当初予定していた上天草市松島総合センターアロマが使用困難となったものの、地域・学校・PTAの強いつながりと迅速な連携により、関係者が協力して会場変更を行い、無事に大会を開催することができました。今回の経験は、つながりの力が困難を乗り越える原動力であることを改めて示すものとなりました。

教養委員会は今後も、誰もが参加しやすい学びの場のづくりに励み、子どもたちの健やかな成長と地域の教育力向上に貢献してまいります。



あまくさ大会 本渡中学校吹奏楽団の演奏

家庭教育委員会報告

委員長 川畑 愛子

家庭教育委員会は、今年度は女性5人男性1人で楽しく、和気あいあいと活動しています。チームワークも良く毎回笑顔で溢れています。

一年を通して、ふれあい活動を軸に活動しています。今年度は親子ふれあいデー活動に23校、ふれあい読書研究会に12校参加していただいています。12月に開催された中間報告会では、それぞれの特色ある事例を活発に発表し合いました。ご参加いただいた皆さんは初めて会われた方々とは思えないぐらいとても和やかで、楽しそうな雰囲気でした。県内には参考になる取り組みがたくさんあるんだと改めて感じました。

また1年に1回、講師をお招きしての家庭部会研修会も行っています。今年度はNPO法人せいしとらんし熊本の井上様、熊本県教育委員会から工木様をお招きして学びの場を設けました。今後も家庭教育のために活動していきます。



広報委員会報告

委員長 下山 幸之助

本年度は「会員の皆様が手に取りやすく、ニーズに応える」ことを念頭に、広報誌の発行とホームページの運営に努めてまいりました。

広報誌においては、蓄積してきた情報を生かしつつ、「まずは手に取ってもらうこと」、そして「ホームページへの誘導により理解を深めてもらうこと」を目指し、第190号の準備を進めました。学校から届く多くの配布物の中で県内の活動をより身近に感じていただけるよう、本号よりデザインを刷新しております。

ホームページでは、新たに閲覧状況の分析を開始いたしました。アクセス時期や記事の需要を把握し、昨年はなかった「県P大会直前の情報集約ページ」を設けるなど、分析結果に基づいた新たな施策にも挑戦しています。

今後も会員の皆様が求める情報を常に探求し、より有益な広報活動が行えるよう励んでまいります。



家庭部会研修会報告



理事 家庭教育委員
古里 誉子

家庭部会研修会が9月30日に熊本市中央公民館6階大会議室で開催されました。

研修会とワークショップの2部制となっており、研修会では2人の娘さんの母でありNPO法人せいしとらんし熊本の認定講師でもある井上美智子様をお招きして、性に関する親のアップデート～未来の子供たちのために～という演題で講演を行っていただきました。井上さんが実際に経験されたことを交えながら話をされ、正しい情報を知ることや親のアップデートの大事さなど、参加された皆さんが熱心に聞いておられました。講演の後に沢山の方から質問もあり、多くの学びを持ち帰りたという思いが伝わってきました。

ワークショップでは熊本県教育庁社会教育課家庭教育支援班主幹工木圭吾様様に、親の学び講座として参加者同士で会話する参加型の研修を中心に行っていただきました。日頃接点のない他地域のPTA会員の皆さんとのサイコロトークや意見交換など、どのグループでも積極的に話されている姿が見られ、とても有意義な時間となりました。

今回は男性の参加者も多く充実した研修会となりました。

編集後記

今回の発行にあたり、「まずは手に取っていただく」という原点に立ち返り、紙面デザインを刷新いたしました。表紙の大幅な変更をはじめ、デザイン制作をご担当いただいた株式会社ワタナベデザイン様には、多大なるお力添えをいただきました。打ち合わせを重ねる中で、対話や協力、そしてつながりの大切さを強く実感しております。これからも県P新聞では有益な情報を発信し、家庭や学校、会員の皆様を結ぶ一助となれるよう、委員会一同努めてまいります。 広報委員長 下山幸之助

祝 第70回 日本PTA九州ブロック研究大会 福岡市大会

第71回 日本PTA九州ブロック研究大会

宮崎大会

新しいつながりの一歩を
ひなた 宮崎の地から
— 子供の未来を明るく照らすSUNと! —

大会1日目 分科会
令和8年 10.24(土)
受付開始 12:00 / 開会 13:00
会場 県内5会場 (詳細は裏面)

大会2日目 全体会
令和8年 10.25(日)
受付開始 8:30 / 開会 9:00
会場 シーガイア コンベンションセンター(宮崎市)

参加者 九州ブロックPTA関係者(約4,000人) 参加費 1人 5,000円

主催:九州ブロックPTA協議会 主管:宮崎県PTA連合会

楽しく子育て! 「親の学び」講座のすすめ

「親の学び」講座を、ぜひご活用ください!!

「親の学び」講座って、なあに?どんな場面で活用できるの?

講座の中身は、どんな内容なの?
PTAの研修会、どんな内容にしようかな?

「親の学び」講座とは

- 参加体験型の講座で、保護者同士のコミュニケーションをとって、楽しみながら子育てのポイントを学んだり、つながりを深めたりすることができるよ。
- 「子どもへの親の関わり方」や「伝え方の工夫」など、子どもの発達段階に即したプログラムがあって、ニーズに合わせて選ぶことができるよ。
- 「学級懇談会」「PTA研修会」「各種委員会」などで活用できるね。
- 県に登録された「トレーナー」が講座を進行してくれるよ。しかも、トレーナーの派遣は無料なんだよ。

「親の学び」オンデマンドキャラクター「お母さん」

「親の学び」オンデマンドキャラクター「ワタル」

「親の学び」オンデマンドキャラクター「グイータ」

お問い合わせ:熊本県教育委員会 社会教育課
電話:096-333-2697

小・中学生総合保障制度 ご案内 [こども総合保険]

PTA 任意保険

たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします

補償内容について
3分間の動画にまとめました

どのような補償があるか、
ご確認ください

賠償補償

お友達にケガをさせる 自転車事故

身体の補償

通学中のケガ 日常生活のケガ

育英費用補償

扶養者が事故で重度の後遺障害

■制度に関するお問合せ先(取扱代理店)
株式会社コーリン(熊本県PTA連合会 保障制度事務局) 0120-228-553
〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セルス薬院5F https://www.pta-corin.com/
■引受保険会社(幹事会社)AIG損保(非幹事会社)東京海上日動,損保ジャパン,三井住友海上,CHUBB
○この広告は「小・中学生総合保障制度(こども総合保険)」の概要についてお伝えしています。
ご加入の際は必ずパンフレット及び重要事項説明書をご覧ください。

こんな時、安心です!

PTA 共済

給付について「たとえばこんなとき...」

P災コース 児童・生徒

中高生が、自転車通学中(学校の許可有り)に、左折車に巻き込まれ、負傷した
(P災コース・交通事故共済金)

児童・生徒の登下校時の交通事故による死亡・後遺障害(学校管理下)
(P災コース・死亡、後遺障害共済金)

部活動中に打撲により前歯が2本破折したため、保険外の歯科補綴治療が必要になった
(P災コース・歯科特別共済金)

安互コース 保護者(PTA会員)

中体連主催の試合に出る中学生を会場まで自家用車で送った際に、信号待ちで停車中に追突され、運転していた母親が負傷した
(安互コース・交通事故共済金)

PTA保護者会員が、運動会の準備のため、テント設置をした際、手をはさみ負傷した
(安互コース・負傷共済金)

PTA共済金 給付の例

小学校の授業参観に参加したPTA保護者会員が、校内の階段から転落して骨折した
(安互コース・負傷共済金)

PTA主催のミニバレーボール大会の練習中にPTA保護者会員がアキレス腱を断裂した
(PTA活動)
(安互コース・負傷共済金)

災害発生から給付までの流れ

共済加入者 保護者・児童・生徒・教職員等

① 事故発生 (事故の発生) ② 治療又は中止 (後遺障害の有無を確認) ③ 共済金受領

共済契約者(単P会長)

事故報告書の提出 (3号の1、FAX可) (オンラインシステム利用可)

- 事故発生日から30日以内に提出する。
- 被災者のPTA共済加入申込書(コピー)
- 当日の行事を裏付ける案内文書又は行事計画など、学校管理下の事故経緯(学校管理下の場合)
- 交通事故の場合は、現場の見取り図、通学経路

熊本市PTA教育振興財団事務局

審査委員会(共済の給付に関する審査・給付額の決定)

(送金) (決定通知)

お問い合わせ
熊本県PTA共済に関するご質問等は...
一般財団法人 熊本県PTA教育振興財団事務局まで
フリーダイヤル:096-223-7119
(電話受付時間 9:00~17:00(月~金))

各種お手続き
学校のPTA共済担当者へ
ご連絡ください

熊本県PTA共済 検索